

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '国指定史跡管理委託事業' and '文化財の保存・活用'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details for '国指定史跡真壁城跡内の除草の管理委託'.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ②対象, ③意図, and 5 columns for years (28-32). Includes '活動指標' and '対象指標'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 28, 29, and 30 years. Includes categories like '国庫支出金', '事業費計', and '人件費'.

Table comparing 29年度事業費実績 (千円) and 30年度事業費予算 (千円) with line items like '04 共済費', '07 賃金', etc.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for implementation content for 30, 31, and 32 years. Includes details for '史跡真壁城跡管理委託料' and '管理業務賃金'.

事務事業名	国指定史跡管理委託事業	事務事業No.	20501000897	所属課	生涯学習課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	史跡真壁城跡は、国の指定に伴い、指定地の管理が必要になったため。 上野原瓦窯跡は、国の指定に伴い、歴史資料としての価値をPRし活用を図るために開始した。 名勝桜川及び桜川のサクラ樹木については、適切な管理のため、管理基盤図面作成として測量委託を実施する計画(2ヶ年)。また、他の史跡等の管理委託については、開始時期が不明であるが、指定とともに管理委託が開始されたものと推測される。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	周辺の耕作地所有から害虫の発生源となるため、除草を頻繁にするよう要望がある。一般公開するにあたって、倒木等の危険防止を要望されている。イノシシ被害について、ハーブ類の効能に関する問合せ、株分けの要望があり、いずれも対応している。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	真壁城跡の獣害対応について、ハーブ類の育成で一定の効果をあげているが、昼夜を問わず害があるため、順調ではない。 解決策としては、一旦城跡全域を鉄柵で囲い、進入を遮断した上で改善する。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 史跡の安全管理と活用につながる
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の所有地である
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 真壁城跡管理については、作業時期、範囲等を改良している。また、史跡真壁城跡の堀を水堀とすることで、堀の除草箇所を大幅に削減している。獣害に対してはハーブ類を植えて防除し、防御柵をつくり獣害は大幅に減少するなど改善している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 安全管理が出来ないため開放に支障を来す
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似業務がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 除草、獣害についてはハーブ類を有効に繁茂・活用すれば除草の管理費を削減でき、イメージアップにも繋がる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の所有地である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	真壁城跡等の除草管理・イノシシ獣害防除については、ハーブを活用し、防御柵を構築することで獣害を大幅に防ぐことができた。さらにハーブ活用を進めることで、管理費の削減、イメージ向上、イノシシ防除等の効果を向上させられる見込み。																				
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>	コスト				削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×
コスト																					
	削減	維持	増加																		
成果	向上	○																			
	維持			×																	
	低下		×	×																	
ハーブについては、植え込みを増やす必要があり、繁茂が広域に及びまでの一定期間、管理業務の業務量が増加する見込み。	(6) 事務事業優先度評価結果																				
	成果優先度評価結果																				
	コスト削減優先度評価結果																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>